



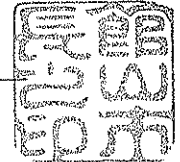
館 都 第 60号

平成19年5月8日

国土交通省道路局長

宮 田 年 耕 様

館山市長 金 丸 謙



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（報告）

標記の件につきましては、別紙のとおり報告いたします。

記

問合わせ先

館山市建設環境部都市計画課 担当 川 上 孝

0470-22-3640

【重点化を進める上で、特に優先度の高い政策。効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。】

## 1. 国道127号の4車線化及び道路特定財源の確保

観光依存度が高い当市にとって、観光シーズンにおける休日の国道127号の交通渋滞が深刻な問題となっております。現在でも7kmにおよぶ交通渋滞が発生していますが、本年7月には館山自動車道の全線開通が予定され、さらに、平成21年には多目的観光栈橋をはじめとする観光集客施設が完成するなど、なお一層の渋滞発生が懸念されております。

また、国道127号（君津市常代～館山市北条）は、「移動性阻害箇所見える化プラン」においても、重点的な検討と対策が必要だとして、千葉県内21路線のうちの1つにリストアップされ、この路線のパブリックコメントを募集すると、県内で2番目に投票数が多く、それだけ交通問題が重要と認識されています。

特に、富浦インターチェンジから県立南総文化ホール前までの渋滞損失時間は、千葉県平均の2倍、全国平均の4倍にも達しています。

加えて、死傷事故率が高いレッドゾーン（全体の7%）には、富浦インターチェンジから県立南総文化ホール前までの交差点が5箇所も含まれるなど、安全性が確保されていないのが現状です。

これらの問題の対応策として、現在、暫定2車線となっている富浦インターチェンジから県立南総文化ホール前までの国道127号を4車線化し、通行可能容量を拡大させることが急務の対策と考えています。また、その財源としては、十分な道路特定財源の確保も必須だと認識しています。

以上のことから、当市といたしましては、次の事項を要望いたします。

① 富津館山道路富浦インターチェンジから国道127号を4車線化すること。

② 道路特定財源については、地方における道路整備の必要を十分に認識され、真に必要な道路整備が着実に進められるよう、受益者負担の原則に基づき安定した財源を確保すること。

## 2. (仮称) 船形バイパスの事業化に関する予算措置

富津館山道路富浦インターチェンジより、館山湾の海岸部に直接来訪客を誘導するため、(仮称) 船形バイパスの事業化を千葉県へ要望しております。つきましては、この事業化に関する予算措置を要望いたします。

【道路政策や道路の整備・管理全般に関すること。】

## 1. 富津館山道路における追越し車線の設置並びに中央分離帯の設置

本路線の19.2kmの区間は、計画上2車線となっており、現在、追越し車線を1箇所建設中ですが、今後、一層交通量が増えると考えられるため、さらなる追越し車線の設置を要望いたします。また、道路中央にはポストコーンが設置されており、速度も70kmに制限されている状況ですが、この路線の交通の安全性を向上させるため、ポストコーンに代えて、中央分離帯を設置することを検討していただきたい。

## 2. 館山自動車道の4車線化

本路線は、計画上4車線のところを、現在、暫定2車線の整備となっております。今後、一層交通量が増えると考えられるため、早期の4車線化を要望いたします。

## 3. 東関東自動車道館山線の終点と位置付けられている館山市までの事業化

南房総地域における高速道路のネットワーク化を図るため、地域高規格道路館山・鴨川道路の整備を視野に、東関東自動車道館山線の終点と位置付けられている館山市までの事業化を要望します。

4. 地域高規格道路館山・鴨川道路の事業化に関する予算措置

現在この区間の、館山～和田間が「調査区間」、和田～鴨川間が「計画路線」となっておりますが、東関東自動車道館山線と連携し、南房総地域における高速道路のネットワーク化を図るため、地域高規格道路館山・鴨川道路の早期の事業化を千葉県へ要望しております。つきましては、この事業化に関する予算措置を要望いたします。

5. 館山自動車道並びに富津館山道路の通行料金の引き下げ

通行料金については、全国的な設定ルールがあり、引き下げは難しいものと認識していますが、利用率の向上にも多分に寄与するものであり、ひいてはこの区間の建設促進にも結びつくため、通行料金の引き下げを検討していただきたい。

6. 里道整備費の補助と市町村道整備費の拡大

里道等の法定外公共物が市町村へ移管されたことに伴い、この整備要望が多く出され、対応に多くの財源を必要としております。さらに、市町村道の整備も財政的に負担が掛かっている中で、里道の整備は困難となっております。このようなことから、里道整備費の補助や舗装補修などの維持管理に関する市町村道整備費の拡大に関して、国から補助することを検討していただきたい。

